令和8年度 公益財団法人鳥取県東部環境管理公社 事業計画

1．基本方針

今、世界では異常気象による大規模な自然災害が増加し、気候変動問題はすべての生き物にとって生存基盤を揺るがす「気候危機」とも言われる状況にあります。

我が国でも、2024年は史上最高の年平均気温を観測したことに加え、農産物の数量及び品質の低下、熱中症のリスク増加等、気候変動の影響が全国各地で現れています。現下の危機を克服し、「循環共生型社会」、「新たな成長」を実現していくためには、解決するための諸政策の統合・相乗効果を推進することが不可欠です。

合わせて、第六次環境基本計画では、目指すべき持続可能な社会の姿、循環共生型社会を実現するため、環境・経済・社会の統合的向上の高度化に向け、循環経済、自然再興、炭素中立等といった個別分野の環境政策を統合的に実施し、相乗効果を発揮させ、経済社会の構造的な課題の解決にも結び付けていくため、特定の施策が複数の異なる課題をも統合的に解決するような、横断的な取り組みが必要であるとしています。

令和8年度は、リファーレンいなば、因幡霊場、白兎グラウンドゴルフ場の3施設が、鳥取県東部広域行政管理組合から引き続き指定管理者として指定を受けて3年目となります。また、環境クリーンセンターは、一部受託業務として従来どおりの管理運営を行います。これらの指定管理業務及び受託業務について、公益財団法人として今日までに積み上げた実績と貴重な経験を基に、新たな目標を設定し、より効率的で適正な管理運営業務の推進と更なる体質強化を図り、信頼される公社づくりを目指すものとします。

また、鳥取県東部広域行政管理組合及び関係市町、さらには地元の企業ならびに教育機関との連携を密にするとともに、公益性を保持し、より柔軟性に富んだ住民サービスの提供と効率的な運営を図るよう努めてまいります。

2．公益目的事業

Ⅰ　リファーレンいなば事業（公益目的事業1）

「ごみの少ないライフスタイルを考えよう！」のキャッチフレーズを掲げ、鳥取県東部圏域内の情報発信の場として、人々の日常生活の中から、ごみ発生の原因を追求し、再使用・リサイクル等によりごみの減量化を進める「4R運動」を基軸として、「循環型経済都市づくり」に寄与する普及啓発事業を推進します。また、館内の展示資料、体験内容、広報・チラシ等の改善・充実を図り、外部イベント及び地域行事に積極的に参加し、支援活動を展開します。さらに、環境問題は一人一人の問題であるとの認識に立ち、地域住民のごみ問題、環境問題等の意識啓発活動の積極的推進と、無償ボランティア「エコフレンズ」の育成充実を図り、実効あるごみ減量化への事業導入に努めます。

さらに、「体感、実感、エコのこころ」をテーマとして環境情報発信機能の強化を図り、地

域に愛される施設を目指します。

１．啓発メニューの拡充

２．周知・広報

３．外部主体との連携

４．エコのこころを持った人づくり

（1）リサイクルに関する意識啓発活動

廃棄物の減量化及び資源の有効利用を促すため地域住民の意識啓発業務として、次の事業を行います。

①「4R運動」の推進

廃棄物の少ない循環型社会を構築するために必要な「４R運動」を中心とし、ごみの減量化及び再利用、再資源化等の情報を整備して、住民意識の喚起を図ります。

・リフューズ・・・要らない物は断わり、ごみを発生させない。（発生抑制）

・リデュース・・・食べ残し、使い残しを無くし、有効利用を考える。（工夫して減らす）

・リ ユ ー ス・・・捨てないで生かして使う。再使用。リターナブル製品の使用。（再使用）

・リサイクル・・・徹底した分別排出を行い、リサイクルをし易くする。（再利用）

②リサイクル体験教室の開催

③啓発用展示物及びリサイクル体験コーナーの整備、充実

④来館者に対する啓発説明の充実

⑤講演会の開催

⑥リサイクルイベントの開催

イ．ごみ・環境問題、分別排出の方法、リサイクルに関する研究や資料等の展示、講演会等の企画を主体として、リサイクルマーケット、食べ物バザー、こども遊びコーナー等を交えた、賑わいあるイベントを開催します。

ロ．夏休み期間中に親子会を開催し、ごみや環境問題に共に触れ合い、認識を深める会を開催します。

ハ．季節を楽しむ（正月門松作りなど）

ニ．食材の使い切り

ホ．リメイク手づくり市の開催

ヘ．リユース市の開催

⑦エコバスツアーの実践

⑧ごみ減量化アイデアの啓発（旧ごみ環境家計簿の実践）

（2）リサイクル情報の収集及び提供、リサイクル活動の支援に関する事業

①情報提供の充実

イ．ホームページの充実（YouTube 公式チャンネルで施設案内、ゴミの捨て方等公開）

ロ. リファーレンプレス発行
ハ. 情報コーナーの充実（環境問題やＳＤＧｓに関するＤＶＤ上映等）
ニ. ごみ出前講座
ホ. 幼稚園児を対象としたプログラム

②リサイクルコーナー
イ. アフターフォロー教室
ロ. 職人の技を学ぶ

③リサイクル情報の収集と提供
ごみ問題やリサイクル等に関する情報を収集、蓄積し整備を図るとともに、公社ホームページ、広報誌等を活用して情報を提供します。
イ. ごみの分別及び環境情報、リサイクルイベント情報、リサイクル家具等の情報、エコショップ情報等の整備、更新を行います。

④団体等のリサイクル行事及び地域活動の支援
公民館、地域各種団体等がリサイクル行事等を行う場合に必要な啓発パネル、リサイクル作品、研究資料等の貸出し、講師派遣等の支援を行います。

Ⅱ　因幡霊場事業（公益目的事業２）
人生終焉の場にふさわしく、管理体制の更なる充実と、健全で円滑な業務運営を図ります。
令和８年１月より、施設設置者である鳥取県東部広域行政管理組合により、内部改修工事が実施されており、令和９年１月終了予定となっています。工事の期間中、利用者には様々な影響があると思いますが運営事業者として利用者の安全と利便性に留意し、円滑な業務に努めます。
また、利用者サービスの一環として行っている喫茶・売店の運営事業、収骨室への案内、親族待合室の整理・整頓、畜類納骨・供養施設の維持管理、畜魂慰霊等についても利用者の心情に応える業務の推進に努めます。
イ. 事務員・技術員・パートタイマーの連携を密に更なる管理体制の充実を図るとともに、財務・会計管理の徹底及び効率的運用を実施します。
ロ. 人生終焉の場にふさわしい、礼節をわきまえた業務を推進します。

Ⅲ　白兎グラウンドゴルフ場事業（公益目的事業３）
東部圏域の住民福祉の増進を目的にスポーツ、レジャー施設として建設された白兎グラウンドゴルフ場は、「笑顔で応対・芝管理の徹底！」をキャッチフレーズに掲げ、高齢者の利用が多い中、笑顔と親切丁寧な応対に心がけると共に施設の保全、愛される施設づくりに邁進します。
イ. 芝等の適正管理と機械化等による自家作業への転換を推進します。

ロ．月例大会の計画的開催と団体利用の受け入れを拡大、推進します。個人戦、フリーペア大会、男女ペア大会、団体戦を含む年１６回を予定しています。大会時はスコア集計ソフトを使用し、運営の効率化とスコア集計の正確性を向上させます。

尚、この白兎グラウンドゴルフ場は昭和５９年から平成８年までの１３年間、鳥取県の東部圏域１市４町の一般廃棄物最終処分場でありました。処分場というイメージの払拭と、跡地の有効利用策として圏域住民の健康増進に寄与することを目的として整備され、さらに管理型処分場として、埋立物および水質が安定するまでは管理を継続する義務があり、底地では汚水の浄化施設により、定期的な水質検査やガス検査等を鳥取県東部広域行政管理組合が実施し、処分場として管理を継続してまいります。

３．収益事業

Ⅰ　因幡霊場喫茶売店事業（収益事業１）

鳥取県東部広域行政管理組合が設立した公の施設である因幡霊場において、利用者の利便向上を目的として、飲食ならびに物品の販売を行います。

Ⅱ　因幡霊場畜魂供養事業（収益事業２）

鳥取県東部広域行政管理組合が設立した公の施設である因幡霊場において、動物の火葬をされた利用者の中でお骨を持ち帰ることが難しい利用者に対して、納骨と供養を行います。

４．その他事業

Ⅰ　環境クリーンセンター事業（その他事業１）

選別工場では、再生資源物の良質化が要求される中にあって、鉄、アルミ、ガラス、ペットボトル等の適正且つ安全な現場作業管理を徹底し、良質資源の回収を図るとともに、埋立作業についても安定処理に努めます。

また、住民に施設を公開して、「ごみの分別」についての意識啓発活動を推進します。

イ．環境クリーンセンターの安全且つ効率的運転・管理を徹底します。

ロ．ペットボトルリサイクルセンターでは効率的運転・管理を徹底します。

ハ．埋立処分場では適正、安全な埋立作業を実施します。

５．管理部門（法人会計）

事務局を中心に、受託諸業務の適正かつ効率的な財政運営を目標とし、経営の健全化に努め、継続的に安定運営の出来る力を蓄えた、公社づくりを目指します。

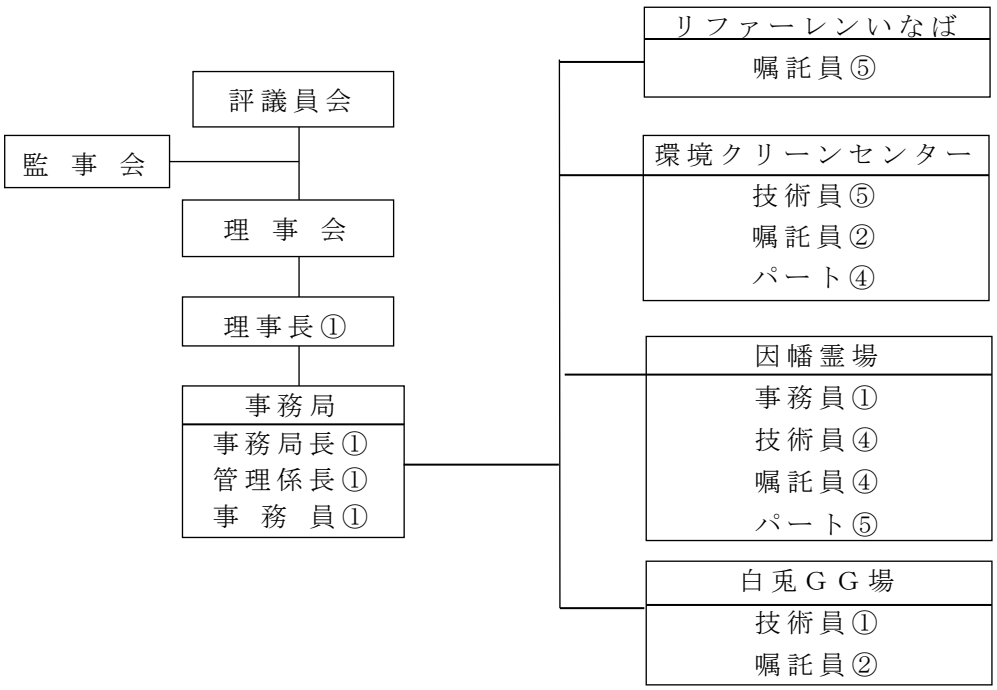
（現行体制）

役職員数常勤役員1名、事務員3名、技術員10名、嘱託員14名、パート9名

計37名

＜各事業と受託年月日＞

リファーレンいなば	平成 9年4月1日
環境クリーンセンター	平成 9年4月1日
因幡霊場	平成10年4月1日
白兎グラウンドゴルフ場	平成12年8月1日
ペットボトル等リサイクルセンター	平成14年4月1日
食品トレー	平成15年4月1日（令和5年3月31日終了）



(令和8年4月1日予定)